

玄海原発を一緒に止めましょう!

壱岐のみなさん こんにちは

多くの住民の反対にも関わらず、九州電力は玄海原発3号機を今年3月23日に、4号機を6月16日に再稼働しました。

私たちは原発事故が起きて放射能が放出されるのではないかと絶えず心配をしながら、不安の中での生活を余儀なくされています。

玄海原発30キロ圏の8市町のうち、壱岐市長をはじめ4市町が再稼働に反対しました。しかし、山口祥義佐賀県知事はこうした声を無視して再稼働に同意しました。

壱岐には玄海原発30キロ圏に住む人が約15000人います。しかし、福島事故で放射能被害は30キロでとどまらないことは明らかとなりました。

原発はひとたび事故を起こしたら、取り返しのつかないこととなります。私たちは、もう二度と原発事故を起こしてはならないと思っています。



東京電力福島第一原発

原発は放射能の問題、命の問題です。

原発をどうしたら止められるか、一緒に考えませんか。

2018年11月

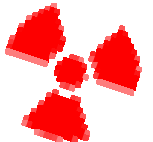
- 玄海原発4基は2011年12月から7年半止まっていますが、何も問題ありませんでした。電気は足りています。
- 原発事故時の避難計画は、放射能被ばくが前提となっており、住民に被ばくを強いるものとなっています。
- 放射性ヨウ素から甲状腺を守る安定ヨウ素剤は手元にないと間に合いません。
- 10万年の管理が必要な核のゴミをこれ以上増やしてはなりません。
- この国は2011.3.11から今日もなお

「原子力緊急事態宣言発令中」です。

- 東京電力福島第一原発事故は終わっていません。

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会
玄海原発反対からつ事務所

原発は暮らしの問題です



国は「絶対安全とは申し上げられない」と言ってきました。事故は起きる、事故大前提の原発再稼働です。事故が起きたら誰も責任とりません。
なぜ九州電力という一企業の起こす事故のために、私たちは被ばくしなければならないのでしょうか！

原発はもう動してはならない！

- ① 隠されている被ばく労働は人権侵害である
- ② 再稼働は核のごみを増やすことになる。
次世代にこれ以上おしつけてはならない
- ③ 福島原発事故が収束せず、事故原因が検証されていない
- ④ 地震が頻発する日本列島では原発震災の危険性が高い
- ⑤ 猛毒プルトニウム(長崎原爆の材料)を使う玄海3号機プルサーマルは一層危険
- ⑥ 原子力災害避難計画では命を守ることができない
- ⑦ 最低限の備えとして安定ヨウ素剤すら住民に配布されず
- ⑧ 原発事故の責任は国、電力会社、自治体のたらいまわし

- 原子力規制庁 03-3581-3352
- 経済産業省 03-3501-1511
- 環境省 03-6741-4535
- 厚生労働省 03-5253-1111
- 九州電力 092-761-3031
- 佐賀県庁 0952-24-2111

分からない
ことには
電話を！

国民の毎日の食べ物の放射能基準値がいつの間にか変わっています！

	単位	事故前(H20年度)の食品放射線量*	厚生労働省H24年度基準値**	
上水	Bq/L	0.00004	10	25万倍
米	Bq/kg	0.012	100	8,300倍
根菜	Bq/kg	0.008	100	12,500倍
葉菜	Bq/kg	0.016	100	6,300倍
牛乳	Bq/L	0.012	50	4,200倍
魚類	Bq/kg	0.091	100	1,100倍
製茶(乾燥)	Bq/kg	0.240	100	420倍

*セシウム137の値 **セシウムの値
出典：日本分析センター平成20年事業報告書より

3.11後、大改悪！今、全国で「安全」と言われているのはこの基準値です。



『佐賀市・原子力防災のしおり』より

原発で事故が起きたら、島の北半分へ逃げれば、放射能から避難することはできますか？
原発30キロの線上に放射能を遮る“壁”はありません！

座談会しませんか？
みなさんの声を聞かせてください！



玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会



佐賀市伊勢町2-14 TEL:0952-37-9212 携帯:090-3949-2103
saiban.jimukyoku@gmail.com http://saga-genkai.jimdo.com/

玄海原発反対からつ事務所

唐津市朝日町1095-10 TEL:090-7926-5591
no.nukes.karatsu@vc.people-i.ne.jp
http://nonukeskaratsu.wixsite.com/karatsu

玄海原発3・4号機 再稼働中止を!

犠牲の上にしか成り立たない 原発はいらない

九州電力は玄海原発3号機を今年3月23日、4号機を6月16日に再稼働させました。

3号機の配管穴あき蒸気漏れ、4号機の一次系冷却材ポンプの異常と再稼働前後に相次いだ事故を未来からの警告と受け止めず、住民の不安を無視し、専門家の意見さえも聞かず、対処療法だけで済ませました。そして、予定を1日前倒しの発送電再開は、安全・安心よりも九電の利益を優先したということに他なりません。

国は“**核燃料サイクル**”が破綻していることを認めず、その国策の下に九州電力は強気で原発を推進してきましたが、犠牲は住民に一方的に押し付けられるのです。

住民の安全安心を第一に守るべき責任がありながら「やむを得ない」として再稼働を容認した山口祥義・佐賀県知事の責任も重大です。原発は放射能の問題。命とくらしに犠牲を押し付け、「やむを得ず」再稼働など言語道断です。

地震はいつ原発を襲うか誰にもわかりません。すべての原発をなくす決断を、九電も国も佐賀県もただちにすべきです。

住民一人ひとりが「原発はいらない」の声を上げ続けていきましょう!



私たちは以下の理由で玄海原発再稼働に反対します

①玄海3号機は**猛毒プルトニウム**を使う“**プルサーマル**”発電です。プルトニウムは核兵器の材料であり、超危険な猛毒の放射性物質です。

②プルサーマルは制御棒の効きが悪くなり、事故時の**放射能被害の範囲はウランと比較して4倍**になると言われています。非常に危険と、世界の専門家も危惧しています。

③原発は大きな事故を起こせば、**取り返しのつかない大惨事になる**ことを東京電力福島原発事故で学んだはずです。

④「玄海原発で絶対に大事故を起こさない」と九電は言いません。「安全第一で頑張る」とだけしか答えません。九電のこん

な姿勢で安心できる訳がありません。その対処法として、**国が原子力災害避難計画を自治体に押しつけています。**

⑤原子力災害**避難計画は被ばく前提**。命とふるさとを守ることができません。

⑥最低限の備えとして**安定ヨウ素剤すら住民に配布されていません。**

原発事故により原子炉から放出される約300種類の放射性物質のうち唯一、放射性

玄海原発プルサーマルと全基を みんなで止める裁判の会

佐賀市伊勢町2-14 TEL:0952-37-9212 携帯:090-3949-2103
saiban.jimukyoku@gmail.com <http://saga-genkai.jimdo.com/>

玄海原発反対からつ事務所

唐津市朝日町1095-10 TEL:090-7926-5591
no.nukes.karatsu@vc.people-i.ne.jp
<http://nonukeskaratsu.wixsite.com/karatsu>

力を貸してください。ご支援お願いします!

ヨウ素だけは安定ヨウ素剤を服用することで体内への取り込みを阻止し、甲状腺を守ることができます。しかし、安定ヨウ素剤は原発5キロ圏にしか事前配布されていません。5キロ圏外では事故が起きてから集合場所などで自治体職員が配布するとなっています。放射能が出てからでは間に合いません。

⑦**スイスでは3.11後**、ヨウ素配布の範囲を拡大しました(2014年1月22日)。スイス政府は福島原発事故を受け原発事故対策として、それまで原発から半径20キロ圏内の住民に配られていた**安定ヨウ素剤を、半径50キロ圏内に拡大して配布**しました。配布にかかるコストは原発運営会社が負担。50キロ圏内の各企業にも配布され、原発事故が就労時間内に起きた場合も服用できるようになっています。

⑧安倍首相は「世界最高水準の規制基準」と言いましたが、原子力規制当局トップの田中俊一・前原子力規制委員会委員長は「基準の適合性は見ているが、**安全だということとは申し上げない**」と繰り返し発言してきました。二代目更田委員長も、田中委員長の志を引き継ぐとして、「初心を忘れない。**100%の安全を保障しない**。安全追求に終わりはない」と発言、事故を大前提とした国・規制委の審査です。

⑨**地震が頻発する日本列島**では原発震災の危険性が高い。福島原発事故は地震が起きたからです。

⑩九州電力は専門家が「**想定する地震の大きさが過小評価だ**」との指摘を無視しています。

⑪福島原発事故で最前線の拠点として機能した**免震重要棟の建設さえも、九州電力は放棄**しました。

⑫**阿蘇山巨大噴火のリスク**を九電も国も「社会通念上考えなくてよい」と**無視**しました。都合の悪いことはすべて「想定外」にする“安全神話”に浸ったままです。

⑬一般企業は、産業廃棄物を自社の責任において廃棄処理するように決められています。しかし、原発は特別です。「**トイレなきマンション**」といわれ、原発から出る核のゴミ処理は決まっていません。10万年の管理が必要とも言われる核ゴミを“未来永劫”押しつけることになっています。

⑭**原発は差別を作り、人権無視の被ばく労働という犠牲を伴います**。原発は事故が起きなくても、ウラン採掘、燃料加工、発電、廃炉に至るまで、労働者の命を傷つけ健康を奪います。

⑮**東京電力福島第一原発事故では**、原発を推進してきた国も東京電力も、同意してきた自治体も、**誰も責任をとっていません**。犠牲はすべて住民に襲いかかりました。責任はたらい回し。

⑯**山口祥義・佐賀県知事**は「原発の安全性は国が判断」「“地元”の範囲を決めるのは国」「安全性の確認と住民の理解が得られたらやむを得ない」と再稼働に同意しました。私たち県民は**命の問題に“やむを得ず”と理解していません**。知事の対応は、ただただ国策に追随するのみで、この度の再稼働直後に起きた3号機と4号機の事故も、私たちの要請を受けてもなお住民への丁寧な報告はありません。

■みなさんからも電話で確認してください!

- ◆九州電力本店:092-761-3031
- ◆九州電力長崎支社:095-864-1810
- ◆佐賀県原子力安全対策課:0952-25-7081
- ◆玄海町役場:0955-52-2111

■放射能からどう避難したらいいのでしょうか?

- ◆長崎県危機管理課:095-824-3597
- ◆各市役所・町役場